

事務事業評価表

○基礎情報

課名		道路管理課	作成責任者	常勤職員		常勤職員以外			時間外勤務時間	
施策目標	49	身近な生活道路を安全で快適にする	市村 敬	管理職	左記以外	再任用短時間職員	臨時職員	非常勤嘱託職員	総時間	一人あたり月平均
				3 人	19 人	3 人	0 人	1 人	3,498 時間	15.3 時間

1 施策指標と実績(Do)

施策指標名	3次実施計画の 現状値	目標値 (30年度)	実績値			
			26年度	27年度	28年度	29年度
狭あい道路の整備延長率	37.33%	40.59%	37.33%	37.99%	38.69%	39.48%
0	0.0%	0				
0	0.0%	0				

(評価の見方)

- ・ S 事業の指標を概ね(80%)達成し、成果があがった
- ・ A 事業の指標は達成できなかったが、成果はあがった
- ・ B 事業の指標を概ね(80%)達成し、成果は今後見込める
- ・ C 事業の指標は達成できなかったが、成果は今後見込める
- ・ D 事業の指標を概ね達成したが、成果は見込めない
- ・ E 事業の指標を達成できず、成果も見込めない
- ・ Z 未着手事業(中核市関連のものを含む)
- ・ 実績なし 事業実施の体制は整えていたが、実績がなかった(実施計画期間中で当該年度は実績のないものを含む)

2 事業実績(平成29年度)

No.	事務事業名 (第3次実施計画)	事務事業の目的・目指すべき成果・効果	Plan / Do								総合評価 (Check)			Action			
		何を・誰を (対象)	どうやって働かさ け(手段・方法)	どうしたいか(生ま れる成果・効果)	事業 性質	従事 者数	会計 区分	H28予算(円) H28決算(円)	H29予算(円) H29決算(円)	事務事業の指標名	H29目標値	H29実績値	評価	取組 時間	見直し検 討可能性	業棚 選定	休・ 廃止
1	幹線道路維持保全 事業	計画的な維持管理による安全安心な道路環 境を図るため、幹線道路の舗裝修繕工事を 行う。	政策	0.30	一般		1,588,000 806,605	6,669,000 1,583,640	整備延長 ①舗装②歩行空間 ③自転車走行空間	①500m②727m ③742m	① - ② - ③ - 踏切安全対策3箇所	A	変動 なし				
2	橋りょう等長寿命化 修繕事業	既存橋りょうの耐震補強の整備促進を図り 地震時の安全性を確保する。	政策	0.47	一般		38,019,000 21,706,824	38,386,304 36,264,240	①点検 ②補修設計 ③補修工事	①21施設 ②3橋 ③1橋	①21施設 ② - ③1橋	A	変動 なし				
3	狭あい道路整備事 業	狭あい道路を整備促進することにより、防災 性・住環境の向上を図り、安全な生活道路と して整備する。	政策	3.32	一般		312,027,000 288,840,567	293,610,000 266,458,479	狭あい道路の整備延長 率	39.78%	39.48%	A	変動 なし	●	●		
4	市道2574号線(茅ヶ 崎ツインウェイヴ)道 路修繕事業	老朽化した道路施設の修繕を実施し、道路 の安全安心を確保する。	政策	0.10	一般		0 0	0 0	道路修繕面積	－ (補修計画検討)	－ (補修計画検討)	C	変動 なし				
5	市道4201号線(大山 街道)道路整備事業	幅員の狭い箇所のある「大山街道」を地域と の調整を行い、歴史や安全に配慮した整備 を行う。	政策	0.31	一般		4,655,000 4,569,480	6,729,000 5,045,760	事業の進捗状況	道路詳細設計	道路詳細設計	S	変動 なし				
6	市道7560号線道路 整備事業	現道に歩道を拡幅設置し、児童・生徒及び 歩行者等の安全・安心を確保する。	政策	0.00	一般		5,886,000 5,345,382	0 0	事業の進捗状況	－	－	Z	－				
7	市道等舗装事業	市・私道未舗装道路を舗装し、歩行者の通 行の安全と住環境の改善を図る。	政策	0.33	一般		4,061,000 2,094,342	4,034,000 3,631,641	舗装面積	1,080㎡	273㎡	A	変動 なし				

8	資材置場移転事業	資源物選別処理施設跡地の未利用公有地の有効活用のため土木資材置場の移転を行う。	政策	0.83	一般	30,000,000 18,553,440	0 0	事業の進行管理	-	土壌分析深度調査平成29年10月完了給排水配管引き込み工事平成30年3月完了	A	変動なし			
9	土木施設災害復旧事業	災害を受けた道路及び橋りょうの復旧工事を行う。	政策	0.19	一般	3,000,000 1,037,664	3,000,000 1,995,102	災害対応件数	1件	災害対応委託6件	S	変動なし			
10	道路排水設備更新事業	老朽化した道路排水ポンプ場設備の機器の更新を実施し、設備の長寿命化を図る	政策	0.25	一般	1,934,000 343,440	2,592,000 2,116,800	実施施設数	1施設	0施設実施 8施設点検	E	変動なし			
11	駅周辺道路施設等更新事業	駅周辺及び道路施設等の更新を実施し、利用者の安全運行を確保する。	政策	0.50	一般	31,580,000 30,816,894	19,528,000 17,616,492	①エレベーター ②エスカレーターの修繕状況	①5基/10基 ②2基/6基	①0基/10基 ②3基/6基	A	変動なし			
12	茅ヶ崎駅南口駅前広場改修事業	茅ヶ崎駅南口広場を改修し、快適な歩行空間を整備する。	政策	0.44	一般	0 0	3,856,000 0	事業の進捗状況	工事着手	交通協議 自治会、商店会等協議	C	変動なし			
13	駅周辺及び道路施設等の維持管理	駅周辺及び道路施設等の維持管理により、利用者の安全運行を確保する。	定例 定型	1.27	一般	71,791,000 70,153,655	69,105,000 68,661,737	茅ヶ崎駅前広場等清掃業務及びエレベーター、エスカレーターの保守点検	駅前広場等清掃(毎月)エレベーター10基エスカレーター6基の保守点検	駅前広場等清掃(毎月)エレベーター10基エスカレーター6基の保守点検	S	変動なし			
14	受託土木工事の設計、施工及び監督	受託土木工事の設計、施工及び監督を行う。	定例 定型	0.28	一般	0 0	0 0	受託工事及び業務委託の設計、施工及び監督の件数	2件	2件	B	増加			
15	側溝浚渫事業	市内各所の側溝の浚渫を行い、道路の路面排水機能を保全・確保する。	定例 定型	1.71	一般	12,583,000 12,576,600	10,993,000 10,928,520	側溝の浚渫延長	3,100m	①側溝浚渫884m ②管渠浚渫178m ③雨水樹清掃389箇所 ④路面清掃1,256㎡	A	変動なし			
16	道路の管理	市道の安全保持のため、維持修繕を行う	定例 定型	7.70	一般	19,776,000 17,479,015	14,047,000 12,243,542	舗装路面補修箇所数	1,400箇所	1,215箇所	S	変動なし	●		
17	道路の占有、掘削等の許可に関する事	道路の占有、掘削等の提出により、調査し許可を適切に行う。	定例 定型	2.05	一般	0 0	0 0	申請・許可件数	2,000件	1,853件	S	変動なし			
18	道路の占用料等の徴収に関する事	道路の占用料等の徴収を適切に行う。	定例 定型	0.59	一般	0 0	0 0	道路付属物占用料 道路損傷復旧負担金	2,100件	2,031件	S	変動なし			
19	道路安全施設設置事業	歩行者や車両の安全を確保するため、道路照明灯・道路反射鏡・路面標示などの整備を図る。	定例 定型	0.86	一般	85,870,000 70,581,310	82,492,000 74,869,611	照明灯新設・反射鏡新設 / 照明灯電気料 / 照明灯点検	13灯・76面/1,032基/98本	10灯・96面/1,182基/98本	S	変動なし			
20	道路小規模修繕事業	市道の雨水樹設置、舗装修繕、ガードレール等小規模な損傷復旧を行う。	定例 定型	0.45	一般	24,546,000 24,545,518	25,868,000 25,496,062	修繕箇所数	44箇所	55箇所	S	変動なし			
21	道路整備事業	市道の路面・歩道等の整備を行い、交通の安全性の確保を図る。	定例 定型	0.59	一般	53,157,606 51,392,424	112,909,000 59,203,240	道路整備面積	2,530㎡	1,061㎡	C	変動なし			
22	道路舗装修繕事業	舗装の穴あき等の損傷箇所を早急に復旧し、歩道の段差や起伏を解消し歩行者や自転車等の安全を確保する。	定例 定型	0.32	一般	123,112,000 120,718,247	123,055,000 118,195,678	整備面積	10,200㎡	7,724㎡	A	変動なし			

23	道路舗装損傷復旧事業	事故の原因となる舗装の穴あき等損傷箇所を早急に復旧する。	定例 定型	0.29	一般	24,083,000 ----- 23,930,640	22,680,000 ----- 22,584,773	復旧面積	1,025㎡	1,368㎡	S	変動 なし			
24	災害応急対策活動	-	定例 定型	0.76	一般	0 ----- 0	0 ----- 0								
25	庁内共通事務	-	定例 定型	0.88	一般	0 ----- 0	0 ----- 0								
合計				24.80		H29総予算(円) ----- H29総決算(円)	839,553,304 ----- 726,895,317								

3 実施計画事業の総括評価

人工・事務事業費・事務事業指標達成度の結果にかかる分析(Check)／今後の展望(Action)	
<p>道路管理課の第3次実施計画の事業数は、「災害応急活動」「庁内共通事務」を除くと23事業である。これらを指標の達成度及び事業の実施効果から見ると、最も多かったのは「S」の9事業、「A」8事業であり、「B」1事業、「C」3事業、「E」1事業、「Z」1事業となっており、大半の事業で成果を出すことができた。もしくは今後成果が見込めるものとなっている。</p> <p>C評価とした3事業「市道2574号線(茅ヶ崎ツインウェイ)道路修繕事業」については、予算がつかなかったものの補修計画の検討は継続しており、成果は今後見込めるものである。「茅ヶ崎駅南口駅前広場改修事業」については、交通について自治会・商店会と協議を継続しており、成果は今後見込めるものである。「道路整備事業」は1526㎡分の予算が確保されていた中で1061㎡の実績となり、一部次年度へ繰越となったため。B評価とした「受託土木工事の設計、施工及び監督」は繰越となったため。E評価とした「道路排水設備更新事業」については、ポンプの更新はできなかったものの全施設の点検を行うことで維持保全に努めた。Z評価とした「市道7560号線道路整備事業」については、他課に所管換えされたため。</p> <p>また、「幹線道路維持保全事業」については、実施計画に位置づけがあるものの舗装100㎡分の予算確保にとどまっていた中で、補助金充当率が低く、優先度の高い「駅周辺道路施設等更新事業」へ補助金を集約した結果、一般財源についても予算執行停止となったため実績はありません。一方、踏切安全対策については、懸案事項であったJRとの協議がまとまり補正予算を組み、対応できたためA評価とした。</p> <p>定期的な幹線道路等のパトロールを実施し、早期に損傷箇所を発見し早急な対応を行い、道路の安全性・快適性の確保に努めた結果、大きな事故の未然防止が図れた。</p> <p>職員の時間外勤務に着目すると、総時間3,498時間、一人あたりの月平均時間は約15.3時間、行2職を除く行1職一人あたりの月平均時間は24.3時間となっており、前年度比で総時間は1,819時間の減少、一人あたりの月平均時間は5.7時間の減少、行2職を除く行1職一人あたりの月平均時間は4.7時間の減少となっている。引き続き事業手法の見直しや事務改善に努める必要があると考える。</p>	

4 見直し検討可能性にチェックの入った事業のうち休・廃止検討事業

No.	事務事業名	休・廃止検討の理由
-	-	-

5 働きかたの見直しにおける取組結果(28-29年度の2か年の取り組みの結果、得られた生産性向上などの成果)

No.	事務事業名	取り組みの結果
3	狭あい道路整備事業	狭あい道路整備事業は、年間約250件の申請処理に加え、申請中や申請前にかかわらず電話及び窓口で問合せがあります。問合せに迅速かつ適切に対応することにより担当者の負担が軽減することを期待し、担当者以外が問合せ対応を出来るよう申請受付マニュアルを作成することとしました。平成29年度は、申請前の問合せについて、問診票形式で対応する方針としました。また、申請中の案件の問合せについて、手続き進捗状況が誰でも確認できるようにデータ共有ファイルの作成をすることとしました。平成30年度は、運用を開始する。
16	道路の管理	市民等から寄せられる苦情・要望等については、主に連絡を受けてから対応に至るまでを1人の職員にて処理を行っており、その経過の中や対応後において、進捗状況の確認等の連絡を受けた際に、関係職員及び対応状況の確認に時間を要するため、更なる苦情が発生してしまうことが課題となっていた。こうした状況を踏まえ、連絡を受けた苦情・要望等を課全体で一元管理できる体制づくりを行うため、苦情要望書処理簿の作成を行った。平成30年度より運用開始し、市民サービスの向上及び確認に要する時間の短縮に取り組んでいく。